

基本書フレームワーク講座

プレ講義

パワーポイントスライド集

リーダーズ総合研究所
主任講師

山田 齊明 先生

辰巳法律研究所

TOKYO・YOKOHAMA・OSAKA・KYOTO・NAGOYA・FUKUOKA

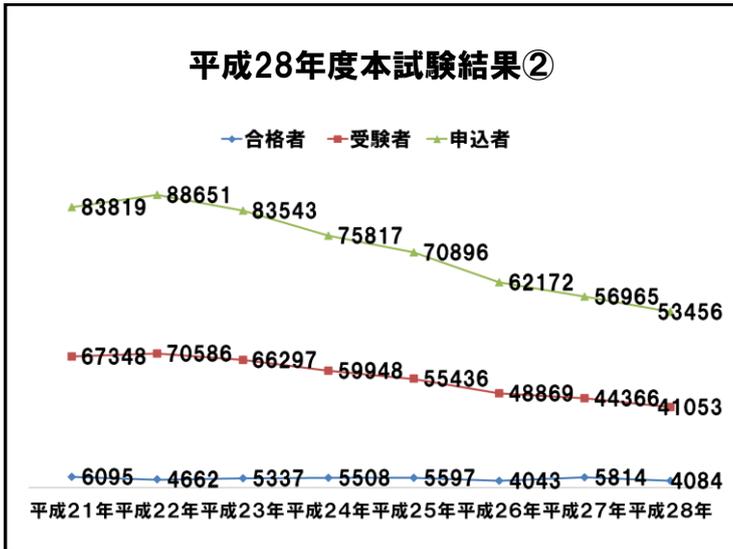
基本書フレームワーク講座 プレ講義

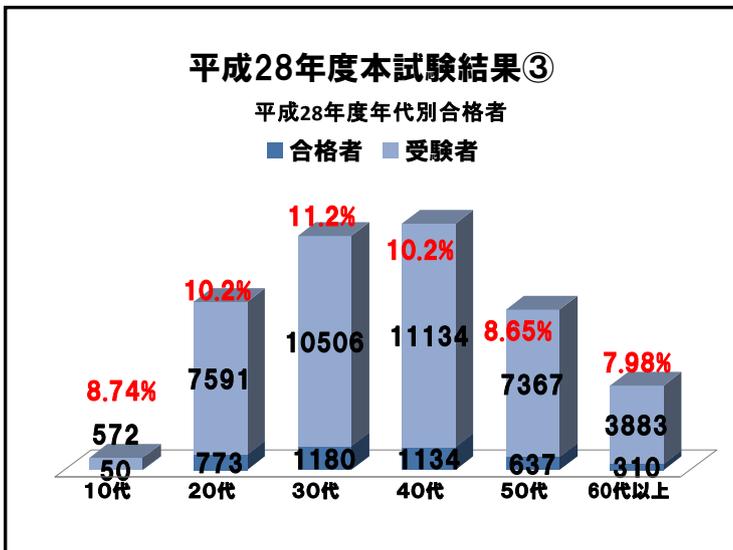
リーダーズ総合研究所
山田斉明

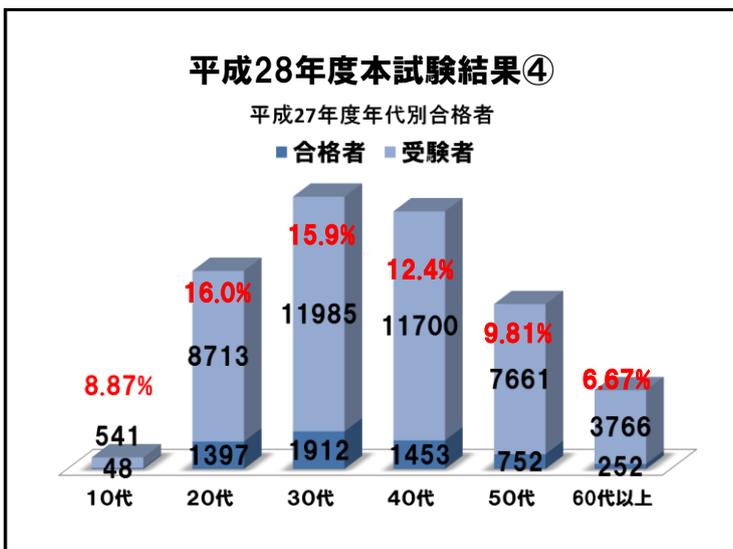


平成28年度本試験結果①

	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
平成24年度	75,817	59,948	5,508	9.19%
平成25年度	70,896	55,436	5,597	10.10%
平成26年度	62,172	48,869	4,043	8.27%
平成27年度	56,965	44,366	5,814	13.1%
平成28年度	53,456	41,053	4,084	9.95%
過去5年	63,861	49,934	5,009	10.0%







平成28年度本試験結果⑤

	申込者	合格者
最高齢	92歳	81歳
最年少	10歳	14歳



平成29年度本試験対策①

《3つのポイント》

- ① **記述式を除いて160点前後**
 - 行政法択一式で19問中15問以上
 - 民法択一式で9問中5問以上
- ② **一般知識で6問以上**
 - 時事問題と文章理解
- ③ **判例問題対策と商法対策**
 - 憲法・行政法・民法

平成29年度本試験対策②

		択一式	記述式	多肢選択式	合計
行政法		/76	/20	/16	/112
民法		/36	/40	/	/76
一般知識	政経社	/28		/	/28
	情報	/16		/	/16
	文章理解	/12		/	/12
憲法		/20		/8	/28
商法		/20		/	/20
基礎法学		/8		/	/8
合計		/216	/60	/24	/300

平成29年度本試験対策③

	条文(理論)			判例		
	5	13	12	19	9	18
Aランク	11	17	15	25	10	24
	16					
	22	23		20	21	26
Bランク						
Cランク	14					

平成29年度本試験対策④

	条文		判例		
	30		34	27	28
Aランク			29		
Bランク			33		
Cランク	35	31	32		

平成29年度本試験対策⑤

行政法		民法	
19問中13問	Aランク	9問中4問	
19問中5問	Bランク	9問中2問	
19問中1問	Cランク	9問中3問	
個数0 組合せ4	出題形式	個数0 組合せ3	
19問中9問	判例問題	9問中6問	

平成29年度本試験対策⑥

	政経社		情報		文章理解	
Aランク	52	47	54		59	58
					60	
Bランク	49	51	55	56		
Cランク	50	53	57			
	48					

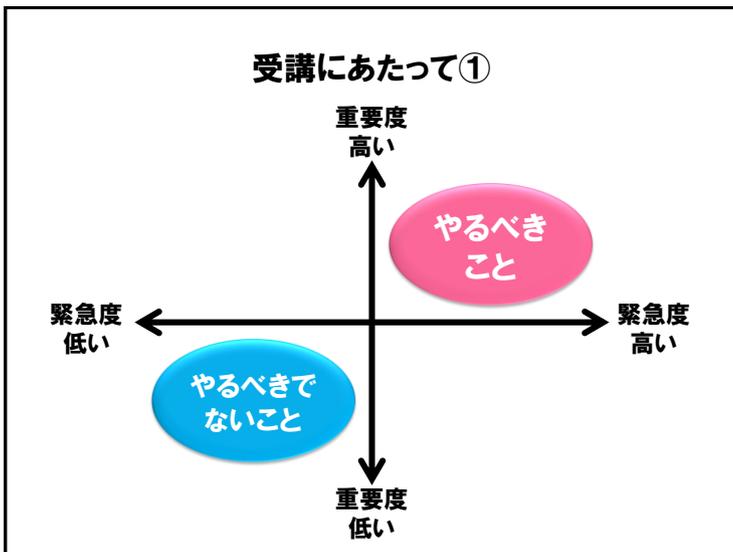
平成29年度本試験対策⑦

		2014年	2015年	2016年	難易度
法令科目	基礎法学	54.8%	40.3%	54.1%	易
	憲法	45.3%	68.4%	47.1%	難
	行政法	57.6%	71.5%	65.5%	難
	民法	43.6%	52.5%	55.2%	易
	商法	38.5%	34%	40.5%	易
一般知識	政経社	50.2%	48.7%	48.5%	同
	情報	62.8%	67.5%	56.6%	難
	文章理解	50.8%	66.5%	75.9%	易

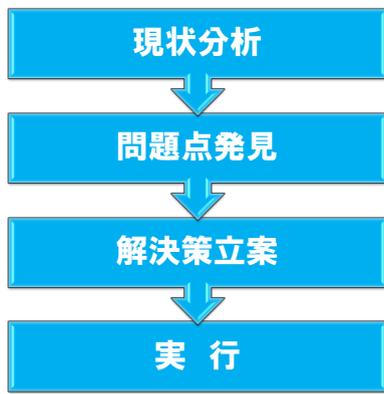
平成29年度本試験対策⑧

	2014年	2015年	2016年	難易度
法令択一式	80.8点	96.9点	91.1点	難
多肢選択式	14.2点	19.9点	16.5点	難
一般知識	29.7点	32.4点	31.4点	やや易
合計 (記述式除く)	124.7点	149.3点	139点	難

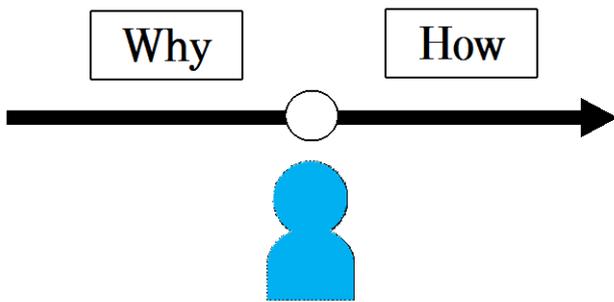




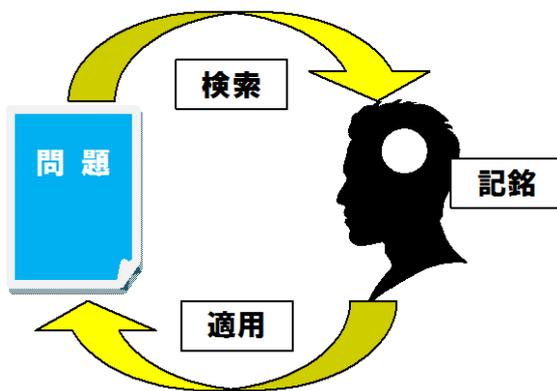
受講にあたって②

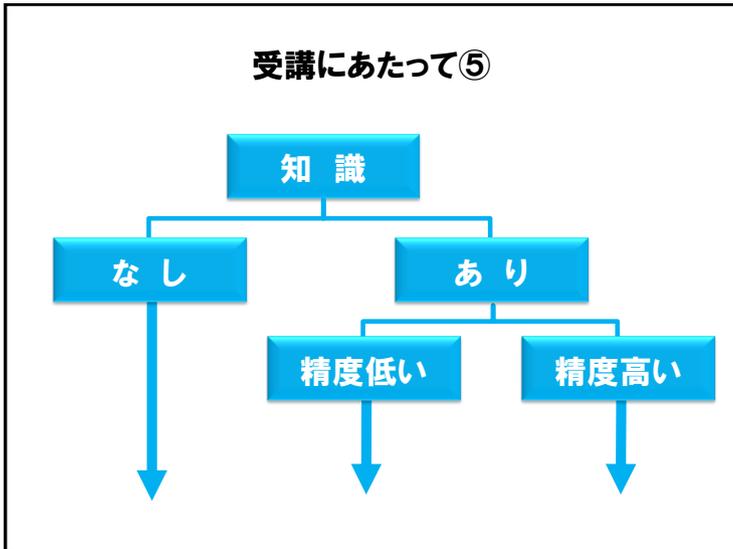


受講にあたって③

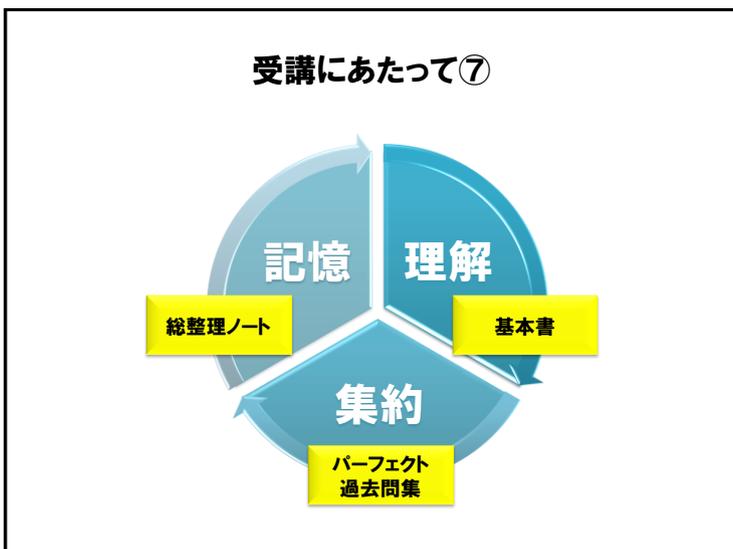


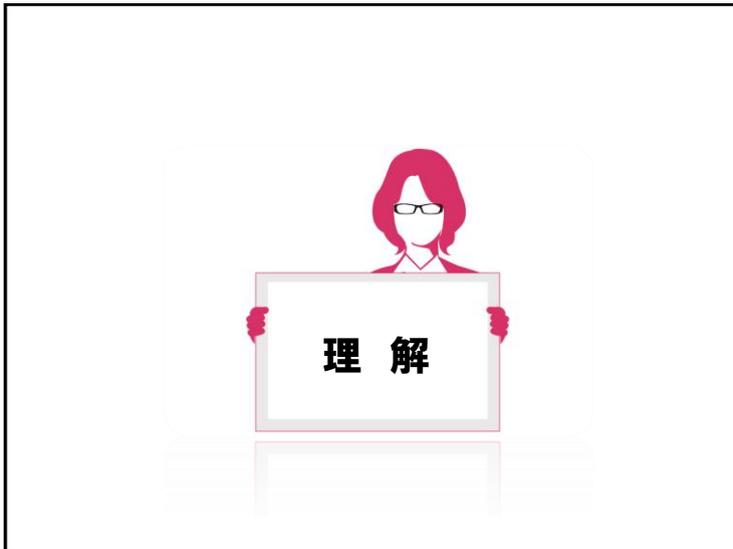
受講にあたって④



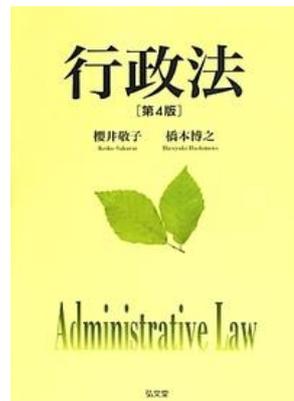


- 受講にあたって⑥
- 《合格戦略》
- ① 民法・行政法☆重点傾斜型学習戦略
→ 全体300点中188点(約63%)
→ 法令科目244点中188点(77%)
 - ② 過去問「分析」型学習戦略
→ 出題パターンの「抽出」ツール
 - ③ 判例学習戦略
→ 判例の“暗記”から“理解”へ

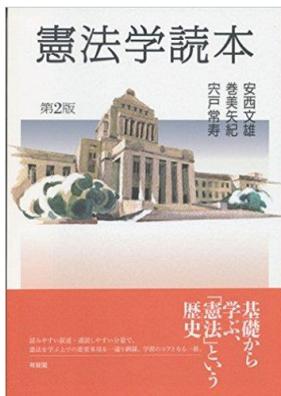




理解(1)



理解(2)



理解(3)

- 1 体系的理解
 ☞ 森から木、木から枝、枝から葉へ
- 2 判例の理解
 ☞ 判例問題の増加
- 3 出題予想
 ☞ 問題作成者との「対話」

理解(4)

講義の中での条文の読み込み、基本書の読み込みによって、まずは森＝全体像を把握します。先生の講座を受講するまで、法律初学者の私の知識は、葉の知識の寄せ集めでした。しかし、森から木、木から枝、枝から葉という知識を身につける事により、法律の森で迷子にならない方法を身につけることができ、例えば、本試験で未知の問題が出題されても、森＝全体像からの応用で、正答を導くことができました。そして、この思考力こそが、実務家となった今日も行政書士としての私の礎となっています。

理解(5)

		2014年	2015年	2016年	難易度
法令科目	基礎法学	54.8%	40.3%	54.1%	易
	憲法	45.3%	68.4%	47.1%	難
	行政法	57.6%	71.5%	65.5%	難
	民法	43.6%	52.5%	55.2%	易
	商法	38.5%	34%	40.5%	易
一般知識	政経社	50.2%	48.7%	48.5%	同
	情報	62.8%	67.5%	56.6%	難
	文章理解	50.8%	66.5%	75.9%	易

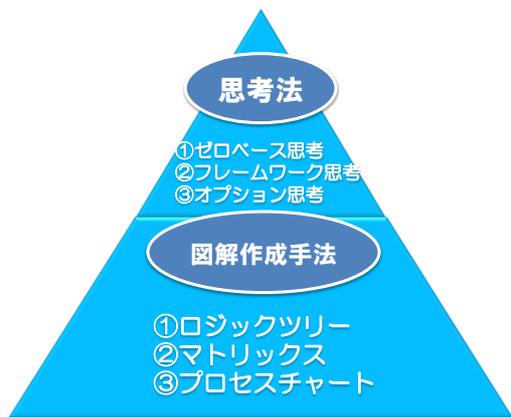
理解(6)

行政法		民法	
19問中13問	Aランク	9問中4問	
19問中5問	Bランク	9問中2問	
19問中1問	Cランク	9問中3問	
個数0 組合せ4	出題形式	個数0 組合せ3	
19問中9問	判例問題	9問中6問	

理解(7)

『山田先生の講座で使用したサクハシこと「行政法」は、平易な文体で書かれていて、法律初学者でも十分理解できる基本書でしたので、私はこれを基本書というよりは、物語を読書する感覚で、何度も読み込むことができました。(読書感覚ですから、章が進むにつれ展開と表現に感動すら覚えました。)]
 『今までは、一冊にまとまった簡単な要点しか書いていない本で勉強をしていましたので、ほとんどが暗記ばかりでした。それが、基本書を使って勉強することによって、ストーリーがあることに気付き、そのストーリーの情景の絵を見たような、音楽を聴いたようなイメージが浮かんできました。ただ一辺倒に暗記ばかりしていた勉強から基本書に変えたことで、理解を得ることができました。』

理解(8)



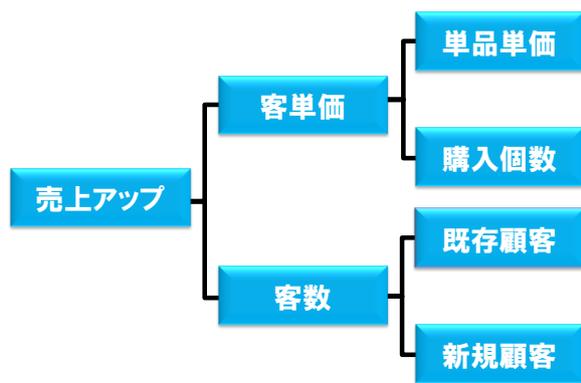
理解(9)

フレームワーク思考とは、物事を理解しやすく、また、説明しやすくするために、対象となる課題につき、全体の枠組みを使用して、その中で様々な事項・要素を考え出していくこと。

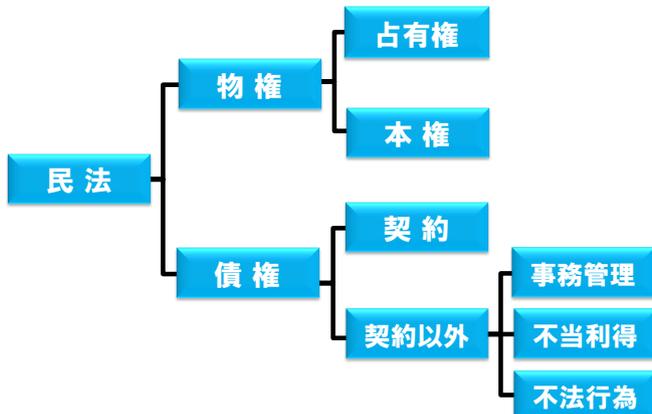
思考のプラットフォーム

思考の切り口・視点

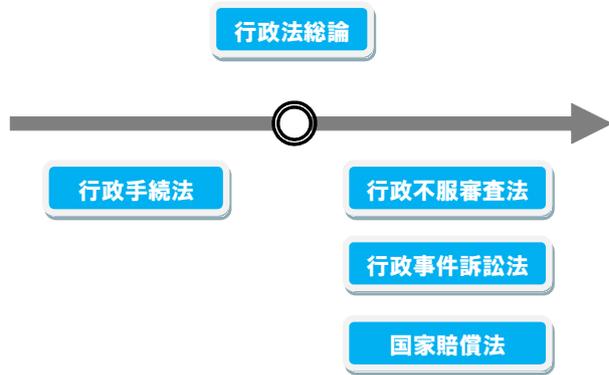
理解(10)



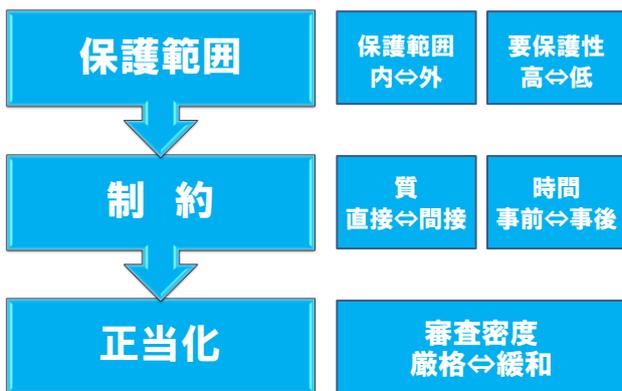
理解(11)



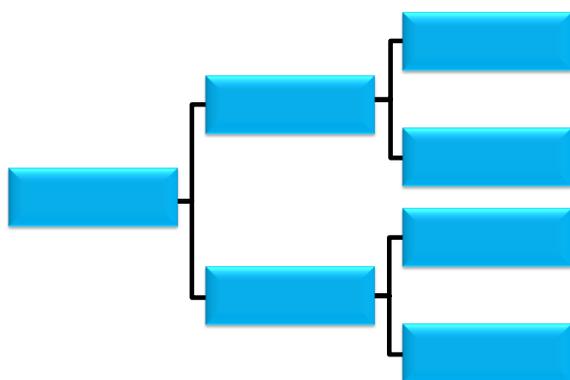
理解(12)



理解(13)



理解(14)



理解(15)

	A	B
甲		
乙		

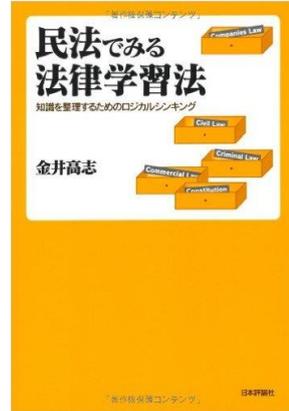
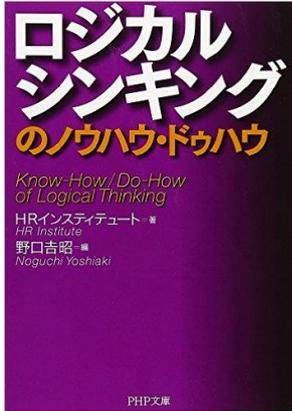
理解(16)



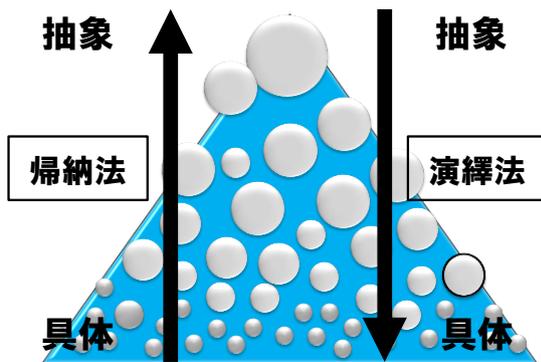
理解(17)

山田先生の講座は、テキストに書いてある事は基本的に読みません。抽象と具体、演繹と帰納を駆使し、複雑に見える法律を体系的に単純化し、分かりやすく説明していただけます。次に、物事を単純化する方法論を講義の中で、教えてください。ロジックツリーを使い、体系的に理解する事を繰り返し頭の中に叩き込まれます。多様な法律を理解するときに、単純化して体系的に理解するという作業は、試験勉強でも実務でも一緒だという事を、実務家になった今、強く実感しています。実務家になった後も法律以外の所で生きてくる部分がある講座は、山田先生の講座だけではないかと思うくらい、他の講座とは一線を画していると思います。他にも、学習ツールや、テキストの選定など、差別化されている点を上げたらきりがありますが、山田先生の講義全体を一言で言えば、「ワクワクする講座」「また受けたくなる講座」なのです。

理解(18)



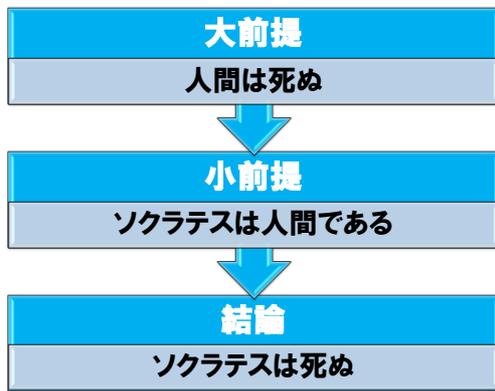
理解(19)



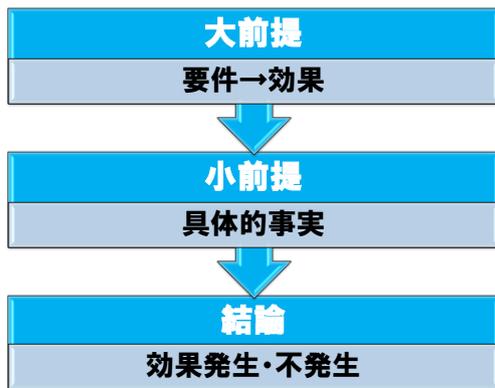
理解(20)

帰納法	演繹法
個々の具体的事実から、具体的事実関係の本質的な共通点を推論し、結論を導き出す説明	一定の前提から論理規則に基づいて必然的に結論を導き出す説明

理解(21)



理解(22)



理解(23)

《問題①》

代理権限の与えられていないAが、本人Xの代理人である旨を記載した白紙委任状を偽造して提示し、代理人と称したので、Bがそれを信頼して契約をした場合、本人Xに契約上の効果が帰属するか。

理解(24)

① 代理権授与表示

白紙委任状が代理人によって濫用された場合、本人が相手方の悪意・有過失を主張立証しない限り、109条の表見代理が認められる。

② 表示された代理権の範囲内の代理行為

他人が、表示された代理権を超えて代理行為をした場合には、109条と110条の重畳適用となる。

③ 相手方が善意・無過失であること

相手方の悪意・有過失は、本人が立証する責任を負う(最判昭41.4.22)。

理解(25)

《問題②》

A所有のカメラをBが処分権限なしに占有していたところ、CがBに所有権があると誤信し、かつ、そのように信じたことに過失なくBから同カメラを買い受けた。Bは、Cにカメラを売却し、以後Cのために占有する旨の意思表示をし、引き続きカメラを所持していた。Cに即時取得が成立するか。

理解(26)

① 動産であること

② 有効な取引行為

③ 前主が無権利者であり、動産を占有していたこと

④ 前主が無権利であることにつき平穩、公然、善意無過失

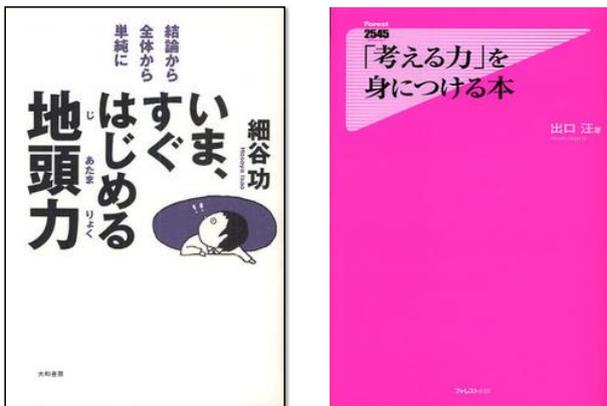
⑤ 占有を始めたこと

占有には、現実の引渡し、簡易の引渡し、指図による占有移転は認められているが、占有改定は認められていない(最判昭35.2.11)。

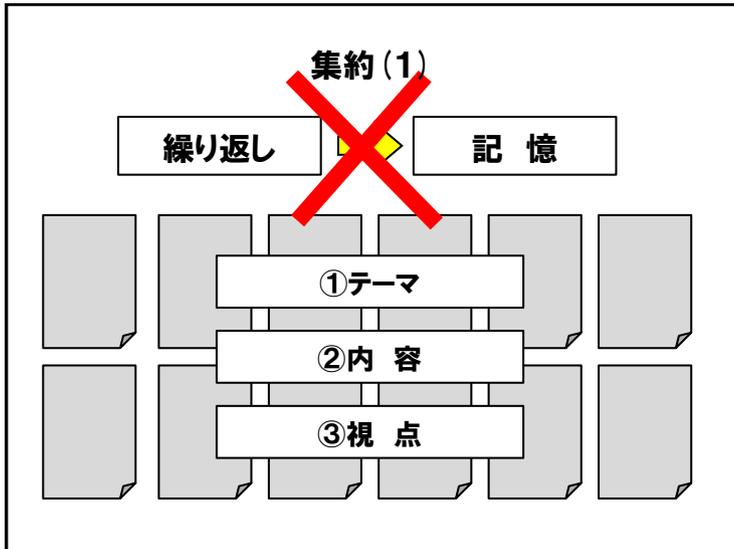
理解 (27)

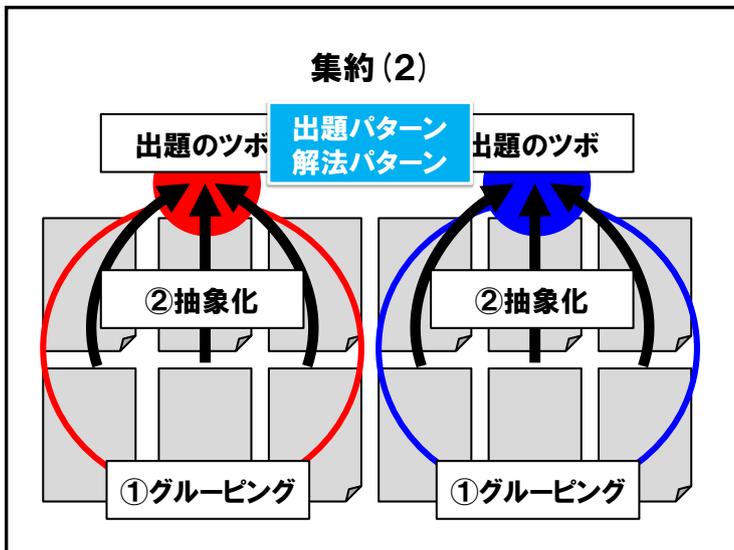


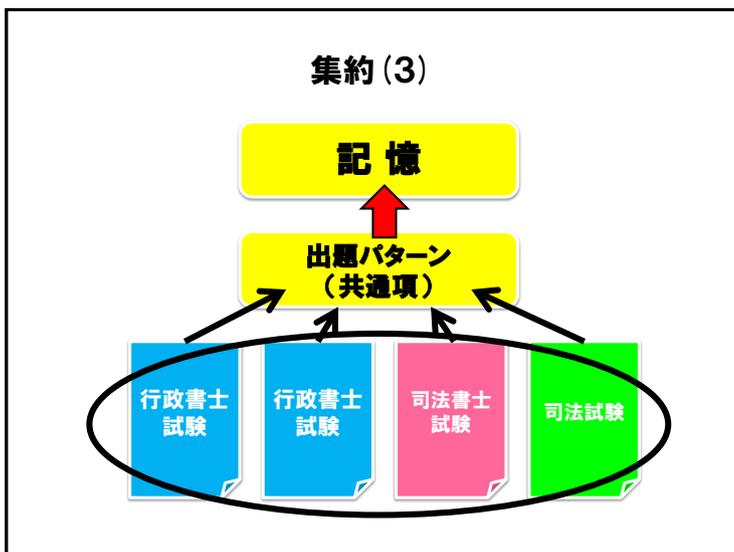
理解 (28)



集約



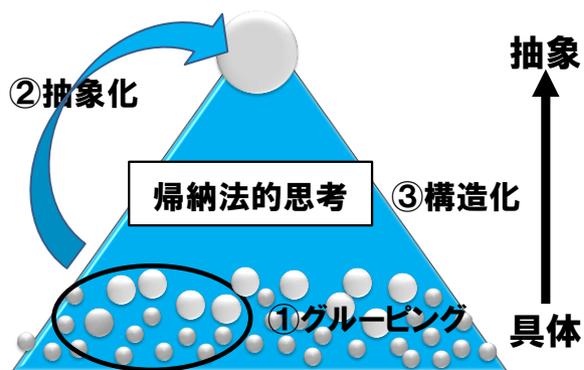




集約(4)



集約(5)



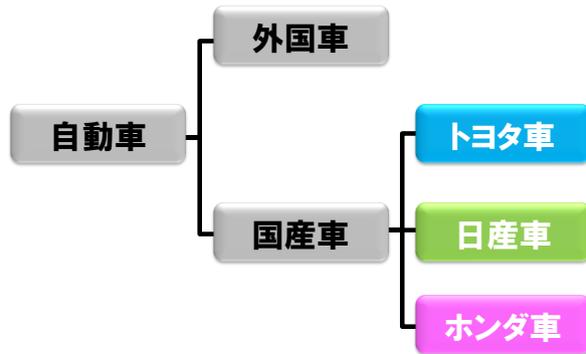
集約(6)



集約(7)



集約(8)



集約(9)

民法94条(虚偽表示)

- ① 相手方と通じてした虚偽の意思表示は、無効とする。
- ② 前項の規定による意思表示の無効は、善意の第三者に対抗することができない。

民法109条(代理権授与の表示による表見代理)

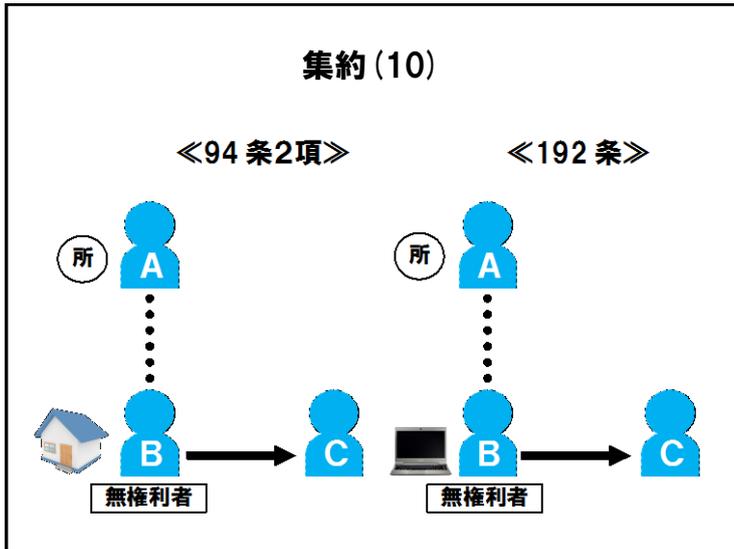
第三者に対して他人に代理権を与えた旨を表示した者は、その代理権の範囲内においてその他人が第三者との間でした行為について、その責任を負う。ただし、第三者が、その他人が代理権を与えられていないことを知り、又は過失によって知らなかったときは、この限りでない。

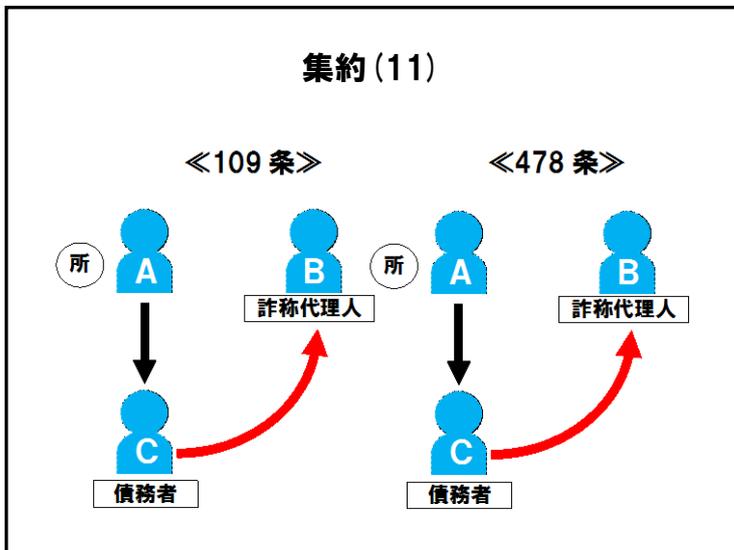
民法192条(即時取得)

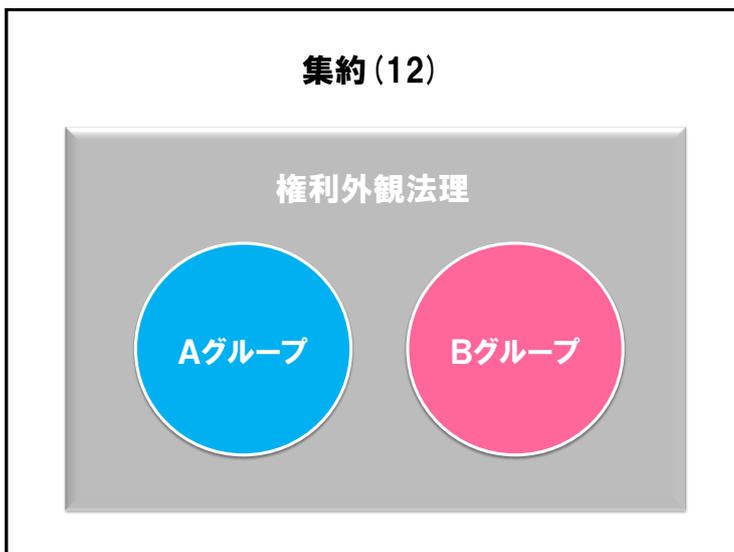
取引行為によって、平穩に、かつ、公然と動産の占有を始めた者は、善意であり、かつ、過失がないときは、即時にその動産について行使する権利を取得する。

民法478条(債権の準占有者に対する弁済)

債権の準占有者に対してした弁済は、その弁済をした者が善意であり、かつ、過失がなかったときに限り、その効力を有する。







集約 (13)

会社法9条(自己の商号の使用を他人に許諾した会社の責任)

自己の商号を使用して事業又は営業を行うことを他人に許諾した会社は、当該会社が当該事業を行うものと誤認して当該他人と取引をした者に対し、当該他人と連帯して、当該取引によって生じた債務を弁済する責任を負う。

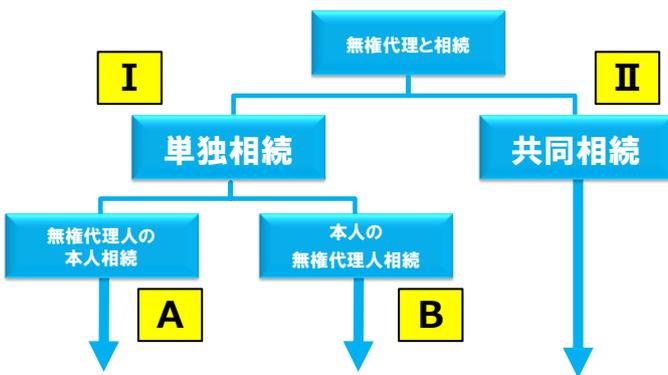
会社法13条(表見支配人)

会社の本店又は支店の事業の主任者であることを示す名称を付した使用人は、当該本店又は支店の事業に関し、一切の裁判外の行為をする権限を有するものとみなす。ただし、相手方が悪意であったときは、この限りでない。

会社法354条(表見代表取締役)

株式会社は、代表取締役以外の取締役に社長、副社長その他株式会社を代表する権限を有するものと認められる名称を付した場合には、当該取締役がした行為について、善意の第三者に対してその責任を負う。

集約 (14)



集約 (15)

	内部者	外部者
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 明渡請求× 原状回復請求○ 	<ul style="list-style-type: none"> 明渡請求○ 妨害排除請求○ 抹消登記請求○ (単独で持分全部)
カネ		<ul style="list-style-type: none"> 損害賠償請求○ (自己の持分のみ)

集約(16)

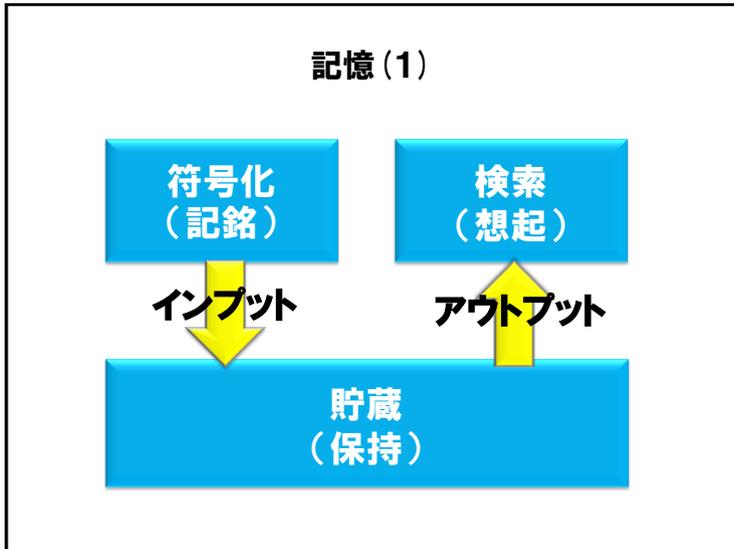
先生から習った勉強法は、得点源でもある民法と行政法を攻略することです。習得に時間を要する民法をマスターするとその後の勉強展開が楽になり、行政法等に集中出来ます。先生は最後には民法を17のパターンにまで集約してくれます。本試験には、この17のパターンだけ持参しました。

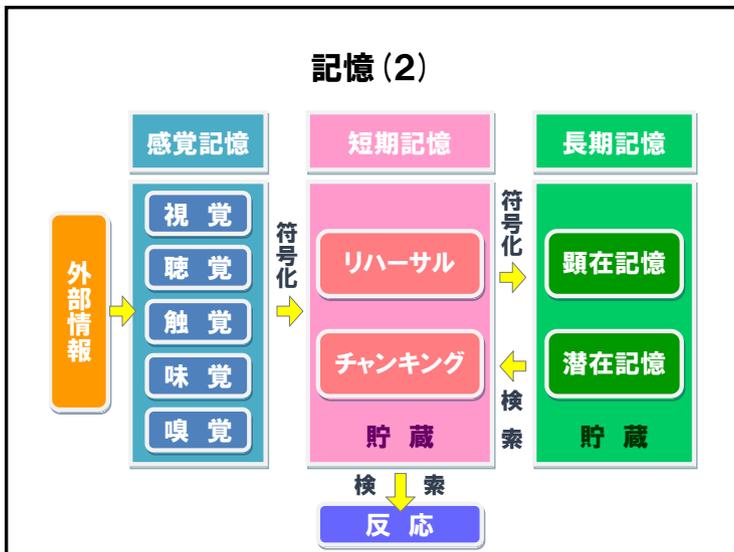
また、「一番過去問を解く量が少ない時に合格する」と言う神話は本当です。統計的に出る問題を集約化して体系的に理解するから多種大量の問題を解く必要がないのです。更に、あるテーマ間(無権代理と他人物売買等)、そして他の科目間(憲法と般教等)と関連付けられ、覚える量は極めて少なく済みます。これが「知識と知識のつながり」です。

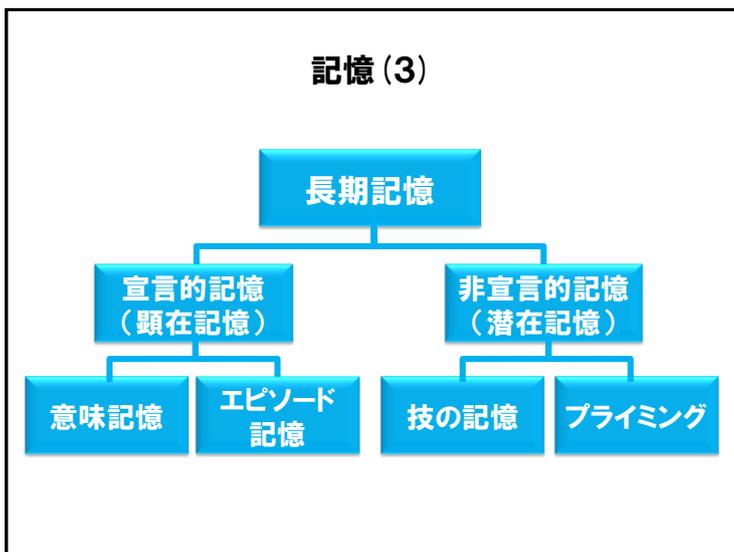
集約(17)

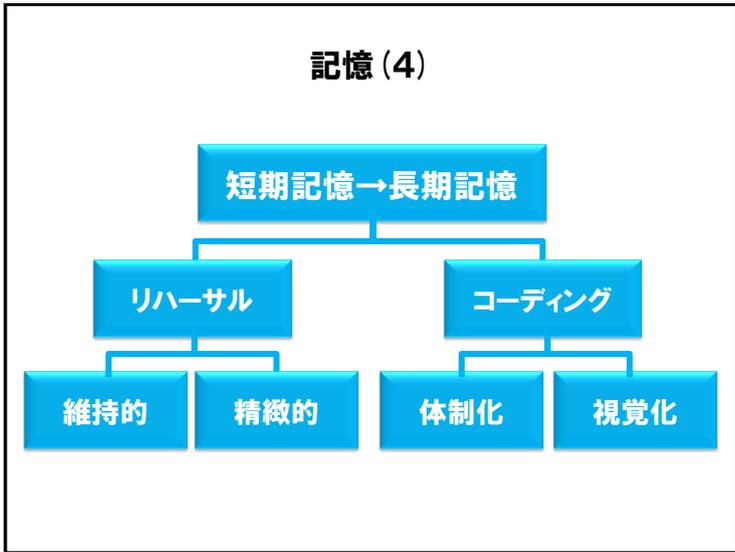


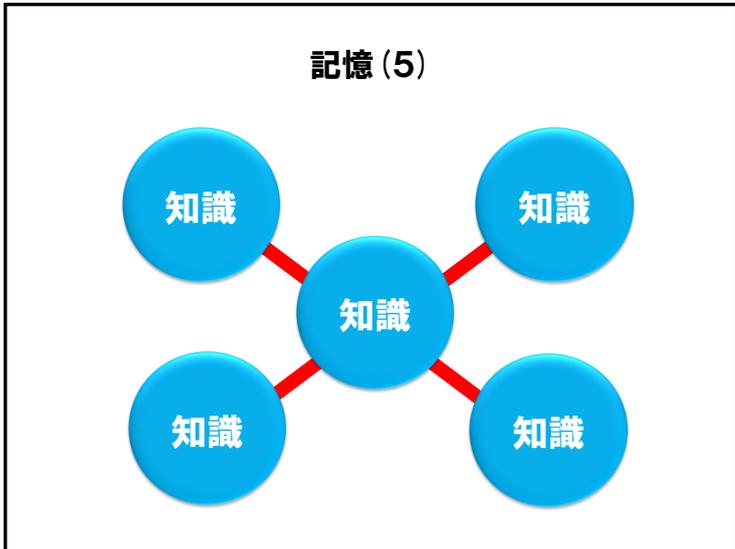


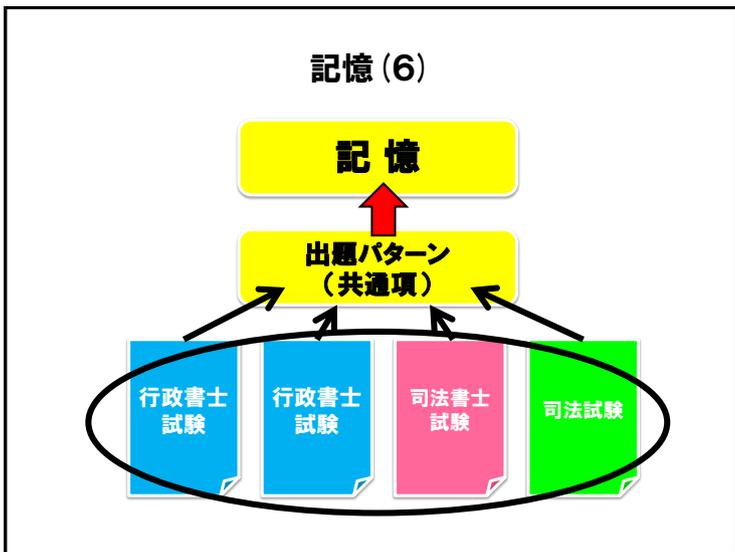




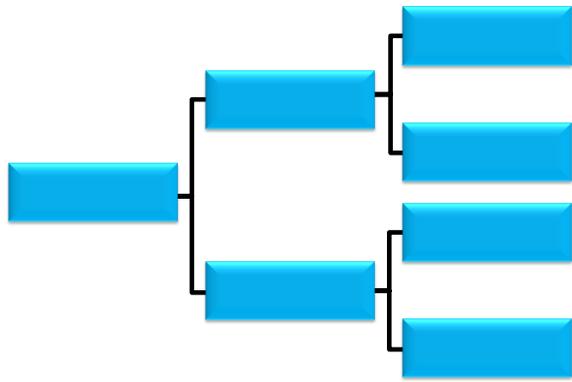








記憶(7)

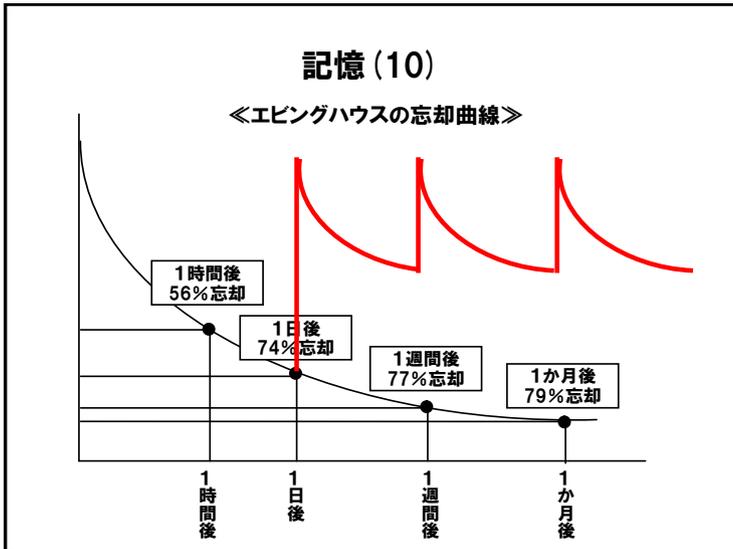


記憶(8)

	A	B
甲		
乙		

記憶(9)





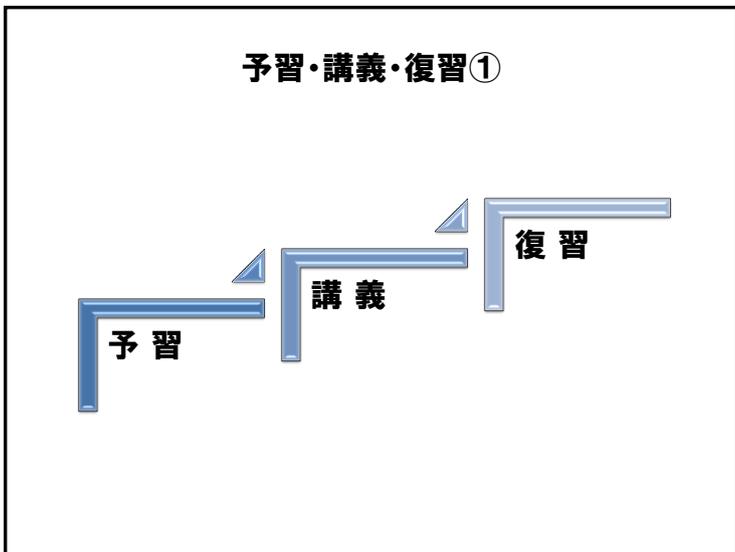
記憶 (11)

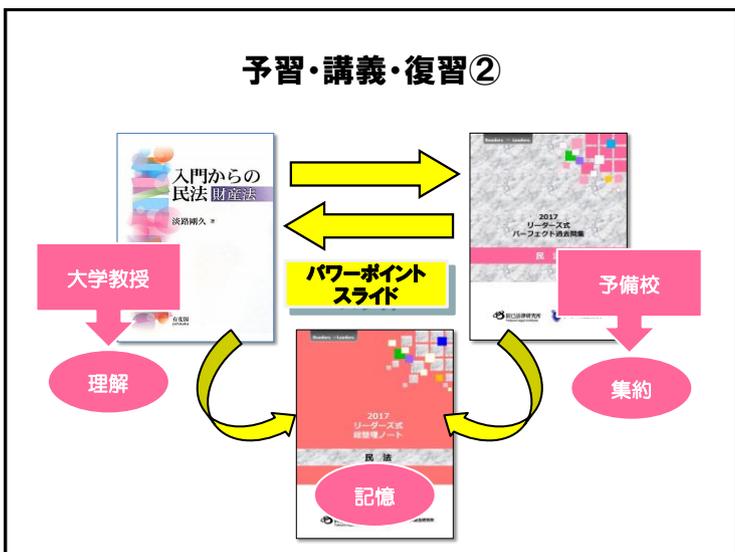
問題○ に関する次の記述のうち、
正しいものはどれか。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5









予習・講義・復習⑥

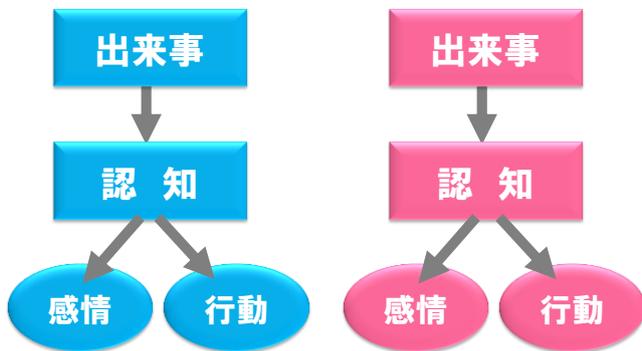


予習・講義・復習⑦



おわりに

おわりに①



おわりに②

拡大解釈	すべき思考	結論の飛躍
・一つの良くないことを一般化して考えてしまうこと。	・～すべき、～ねばならないという考えに固執してしまうこと。	・確かな根拠もないのに、悲観的な結論を出してしまうこと。

おわりに③



無料
動画

リーダーズ YAMADA の 行政書士おもしろ3分間 Movie



<http://r-tatsumi.com/st/group/gy3minutes/>

リーダーズ総合研究所・山田斉明講師が法律や行政書士試験をテーマに面白おかしく解説。様々なテーマを取り上げてやさしく分かりやすく解説していきます。

取り上げているテーマの一例

『憲法・官公庁シリーズ「国会議事堂」』『民法「軽井沢の別荘事案」』『一般知識シリーズ「世界遺産」』『民法条文シリーズ「質権」』『行政法「許可?の違い」』『一般知識シリーズ「雇用」』ほか



スマートフォン、
タブレットで
視聴できます。

辰 巳 法 律 研 究 所

東京本校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-6
TEL03-3360-3371（代表） ☎ 0120-319059（受講相談）
<http://www.tatsumi.co.jp/>

横浜本校：〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-23-5 銀洋第2ビル4F
TEL045-410-0690（代表）

大阪本校：〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-13 東梅田パークビル3F TEL06-6311-0400（代表）

京都本校：〒604-8187 京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435
京都御池第一生命ビルディング2F TEL075-254-8066（代表）

名古屋本校：〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3 第2アスタービル4F
TEL052-588-3941（代表）

福岡本校：〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-17 西日本ビル8F TEL092-726-5040（代表）